おおさかタイムライン防災プロジェクト

大阪府

令和８年４月　河川整備課 計画グループ

タイムラインとは

流域治水の一環である**「逃げる」施策**は、災害時には重要な事項の１つであり、これまでも推し進めてきたところ。タイムラインもその１つで、大規模な災害から住民の命を守り、被害を最小化することを目的に防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し、「**いつ**」「**誰が**」「**何をするか**」に着目して防災行動とその実施主体を時系列に整理したものである。

プロジェクトの概要

大阪府では、タイムラインを以下の３つに分類し、先行取り組み（**リーディングプロジェクト**）を実施。これらの先行事例をモデルとして、洪水や土砂災害、高潮災害など様々なハザードを対象に、国や市町村と連携し大阪府全域にタイムラインの作成と活用を拡げていく、「**おおさかタイムライン防災プロジェクト**」を進めている。

広域タイムライン　5/5地域＜寝屋川流域、神崎川・安威川流域、南河内地域、大津川流域、大阪湾（泉州）高潮＞

比較的大きな流域を対象として、行政機関に加え、ライフライン事業者、鉄道事業者など多くの防災機関の防災行動を記載したもの。国や府が主体となって関係する防災機関とともに作成。

市町村タイムライン　42/43市町村

一つの市町村を対象として、市町村の各部署の防災行動を記載したもの。市町村の各部署が参画し、作成。

コミュニティ（地域）タイムライン　28市町村、202地区

R7は16地区策定（R8.1末時点）

自治会などの小さな区域を対象として、住民や自主防災組織などが行う防災行動を記載したもの。市町村と地域住民がリスクコミュニケーションを図りながら作成。

今後・・

〈マイタイムライン〉３つのタイムラインを進めるとともに、特にコミュニティタイムライン作成済みの地域については、国の推進する“マイタイムライン”についても関係部局と協力の上、推進していく。

課題と対応

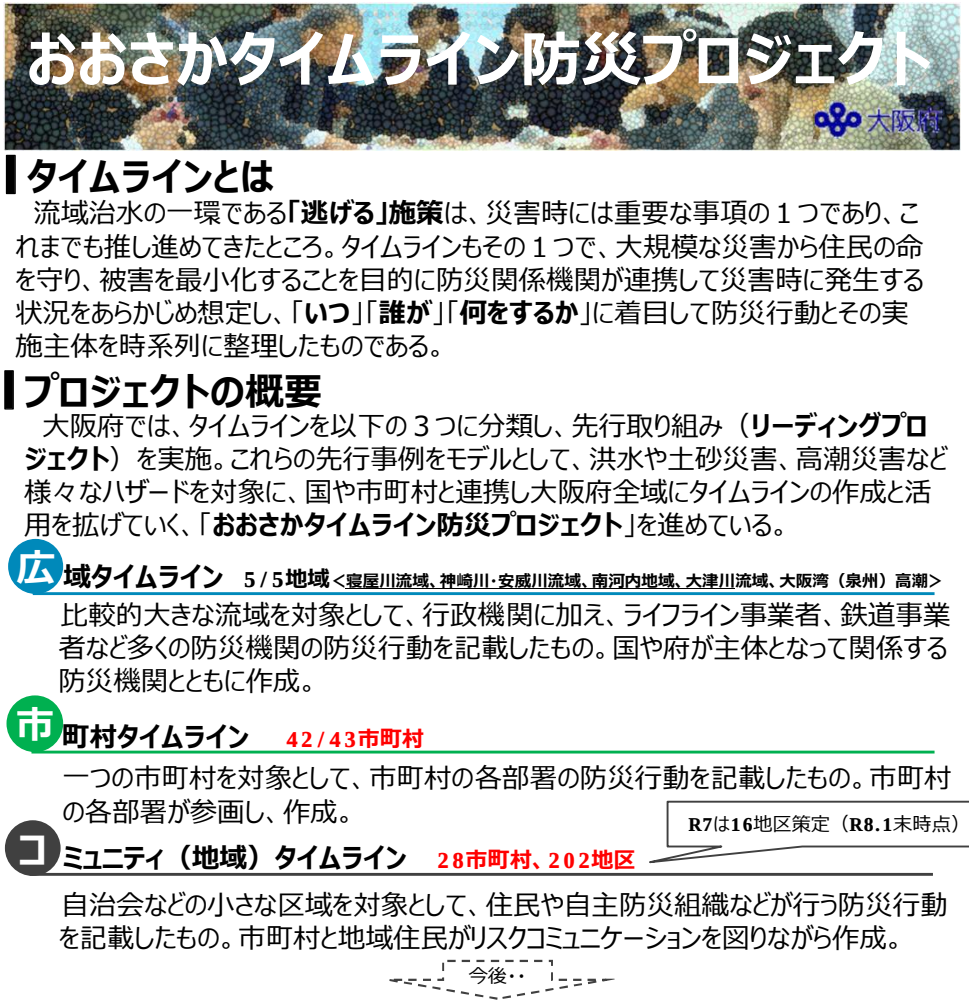
タイムライン分類	課題	対応
広域	●タイムラインを活用した訓練の実施 ●タイムラインの改善	●全てのタイムラインで訓練を実施 ●実際の水害対応を踏まえ、改善を実施
市町村	●全市町村でのタイムライン作成 ●タイムラインの活用、改善	●市町村への作成の働きかけ、支援 ●実際の水害時の活用、ふりかえり、改善を実施
コミュニティ	●地区数が多く作成が十分に進んでいない ●地域のモチベーションや担い手不足 ●優先的に作成の対象とするリスク（土砂・洪水）の明確化	●事例集の活用等により横展開 ●イベントや訓練等での周知、講師等の派遣支援 ●地区単位ハザードマップ作成済地域での作成促進

これまでの取組

キックオフ

平成29年３月
おおさかタイムライン防災プロジェクトシンポジウム





神崎川流域

令和３年９月策定・運用開始
実績：４回　※訓練未実施

安威川流域

令和元年９月策定・運用開始
実績：８回　改訂：３回

リーディングプロジェクト
寝屋川流域

平成30年８月策定・運用開始
実績：16回　改訂：６回



南河内地域（石川流域外）

令和２年３月策定・運用開始
実績：５回

リーディングプロジェクト
貝塚市旭地区高潮タイムライン

平成29年３月
策定・運用開始



大阪湾沿岸（泉州）高潮

令和年年８月策定・運用開始
実績：9回　改訂：３回

リーディングプロジェクト
河南町土砂災害タイムライン

平成30年６月
策定・運用開始



大津川流域

令和３年３月策定・運用開始
実績：４回　改訂：３回

※上図は、タイムライン完成状況
■「広域タイムライン」
●「市町村タイムライン」

令和８年度の取組

＜広域タイムライン＞　訓練未実施の１流域において訓練を実施/振り返り・改善を実施
＜市町村タイムライン＞　未作成１市の早期完成/策定済みの市町村は振り返り・改善を実施
＜コミュニティタイムライン＞　未作成の市町における作成を目標とし、府は引き続き支援を実施
⇒**土砂災害は、洪水と比較してリスクの範囲が限定**されることから、**地域単位で避難計画を作成することが有効**
⇒**地区単位ハザードマップ（HM)作成済の地域**に対し、実際の運用や訓練を行った際にタイムラインの作成を促す等、重点的に作成の取組を拡げていく。



コミュニティタイムライン作成状況



令和８年度 大阪府の取組について

コミュニティタイムライン策定を支援する講習会

【課題】
・地域タイムライン作成支援の中心となる市町村の**防災担当職員の人員不足等**
・専門知識を有した方の意見を伺うことによる防災担当職員の説得力や意識向上

【講習会概要】
□ 対　　象：防災担当職員や地元自治会長等
□ 講習内容（例）：
講義）タイムライン(意義・効果／作成方法等)　　１時間
流域治水/水害等リスク/防災気象情報/
演習）グループ毎のタイムライン作成　　２時間

全市町村で１つのコミニティタイムライン作成を促進

<令和７年度の取組み>
岸和田市内（**R7.8.25**）、大阪市内（**R7.8.29**）において、近畿建設協会の協力のもと、作成支援の講習会を実施



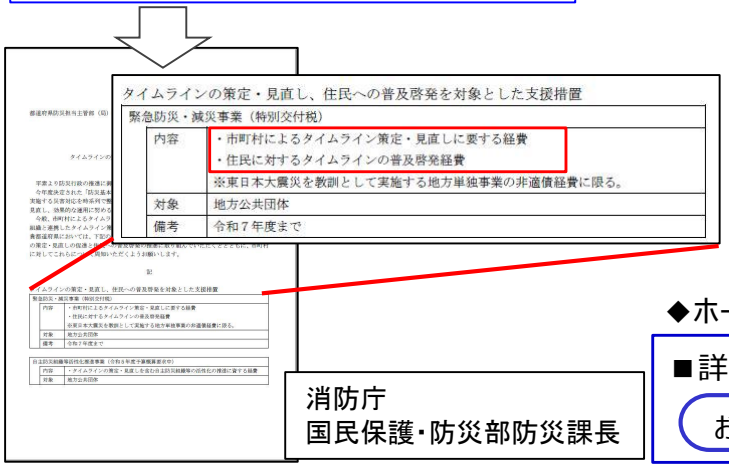


講習会の様子
（岸和田市内）

コミュニティタイムライン策定支援

★市町村の困りごとをヒアリング★

【策定に向け希望する支援】
・地域に配布できるひな形や説明資料の提供
・出前講座の支援
・地域TL作成に資する情報提供
・タイムライン作成にかかる経費支援　　等々


タイムラインの策定・見直し、住民への普及啓発を対象とした支援措置

緊急防災・減災事業（特別交付税）	
内容	・市町村によるタイムライン策定・見直しに要する経費 ・住民に対するタイムラインの普及啓発経費 ※東日本大震災を教訓として実施する地方単独事業の非適債経費に限る。
対象	地方公共団体
備考	令和７年度まで

消防庁
国民保護・防災部防災課長

◆動画やワークシート（ひな形）などをまとめた**DVD**を府内全市町村へ配布しています！







◆ホームページから、だれでも視聴可能です！

■詳しくは、ホームページをご覧ください。
おおさか　タイムライン　で検索

◆コミュニティタイムライン総括表のひな形もダウンロード可能です！